

はじめに

国土技術政策総合研究所（以下、国総研という。）企画部国際研究推進室は、毎年「アジア地域国土整備関係研究所長等会議（以下、アジア所長会議という。）」を開催し、今年で19回目を迎えた（24カ国、152名が参加）。会議にはアジア各国の政府関係者並びに社会資本整備に関する研究機関の研究者を招聘し、情報交換及び技術の紹介並びに現地視察を行ってきた。しかしながら、アジア所長会議は単年度の単発的な国際会議で、その参加は各国の申請に基づくものであることから、研究所としての戦略的で管理可能な外交的活動になり得ているかという点で不十分であったことは否めない。また事実、この会議をきっかけとしてアジア諸外国との間で研究協力関係を構築できずにいたことも反省すべき点である。

そのため国際研究推進室では、平成 22（2010）年度でもってアジア所長会議を一旦閉幕することとし、アジア諸外国との間で行なう個別の研究協力を実施する方針へと大きく方向転換を行なうこととした。

その結果、平成 22（2010）年度中に国総研は新たにベトナム社会主義共和国交通運輸省科学技術研究所(Institute of Transport Science and Technology)（以下、ITST という。）との間で研究協力に関する覚書を締結するに至った。

本資料は、研究協力に関する覚書を締結するまでの背景や覚書の内容について、並びに平成 22（2010）年度に開催したワークショップの内容等について整理するとともに、今後の国総研の外交的活動について研究・整理した報告書である。

平成 23 年 7 月

国土技術政策総合研究所  
企画部 国際研究推進室  
室長 寺元 博昭  
国際交流専門職 中山 喜志夫  
研究官 木村 恵子  
研究員 松下 智祥